

図書館だより

1月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
③	④	⑤	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	⑮	16
17	⑱	19	20	21	22	23
24	⑳	25	26	27	28	㉑
						30

○印 休館日
月曜日・祝日(15日)・月末館内整理日(29日)
年始休館日(1日～5日)

今月の新刊図書案内

一般図書

うれしい気持ちの育て方
松井るり子
あくせくするな、
ゆっくり生きよう！
リチャード・カールソン
川中島合戦は二つあった 笹本正治
パリ五段活用 鹿島 茂
母と神童 奥田昭則



植物と話がしたい 野原すみれ
よくわかる最新版ビタミンブック 市田ひろみ
アイデアいっぱい 神津善行
簡単・便利な介護服 吉川敏一
チョコレートのお菓子 栗田佐穂子
サラブレッドは とうごちさと
ゴール板を知っているか 楠瀬 良
ボイスレコーダー撃墜の証言 小山 巖
ミレールの生涯 アルフレッド・サンズイエ

年賀状を楽しむ 渡部大語
浪花節繁昌記 大西信行
スカウト 後藤正治
敬語表現 蒲谷宏ほか
簡単な英語をうまく 秋沢公二
使うコツの本 安部譲二
秋は滲んで見えた 内田康夫
藍色回廊殺人事件 小嵐九八郎
真幸くあらば 谷 恒生
長安烈日 簡井ともみ
女優 伴野 朗
謀臣列伝 長野まゆみ
碧空(あをぞら) 増田みず子
火夜 森 詠
那珂川青春記 津村節子
花時計 ブルーリア ダヴィッド・シヤハル
パートナー ジョン・グリシヤム
騎乗 ディック・フランシス
ブリジッド・ジョーンズの日記
ヘレン・フィールディング
愛されない子 トリイ・ヘイデン
フロリアの「告白」 ヨースタイン・ゴルデル


外三三冊

市立図書館 今月の一冊

『キュリー夫人』
伊東信文 ポプラ社
2度のノーベル賞に輝いたキュリー夫人は、いつも人々の幸せを願って研究を続けた科学者でした。伝記物語とものしりガイドで、本当の人物像がみんなの心によみがえります。

『ホルモン・クライシス』
常藤純一 著 講談社
脳の性分化の研究者や大脳生理学の権威、さらには泌尿器科や精神科の医師、教育関係の専門家と「環境ホルモン」とは直接的に関連のない多くの人たちに取材し、性の問題や脳の発達の問題に踏み込んだ。環境ホルモン徹底レポート。



児童図書 外八四冊

ラブ運アップ！ひみつの花占い アンネと会った自由をわれらに
社会科はじめて大百科 クロクサアリのひみつ
はしをわたらずはしわたれ 鬼の橋
ごりら先生
十月のみずうみ
葉っぱのフレディ
光草 — ストラリスコ —
おやすみなさいのプレゼント
くまのテディちゃん

心の健康シリーズ(69)

子どもに

豊かな「感性」と「学び方」を



青少年の非行が多発し、凶悪化の傾向にあり、各ご家庭においても憂慮されていることとされます。
教育関係者や青少年関係団体なども、これら青少年の非行防止について、広く一般市民にも働きかけ、学校、家庭、地域において「心の教育」を重視した指導を強く求めています。
数年前、ある新聞の「まんだら人生論」に次のようなことが出ていました。

ある学校の算数のテストの問題で「四個のリンゴを三人で分ける」と一人はどれだけになるか」という問題を出したところ、ある子どもが「二」と答え、Xをもらってききました。お母さんがそれを見て、子どもに「二人が一つずつもらう」とリンゴは一個余るでしょう。その余ったリンゴはどうするの」と聞くと、子どもは「お母さん、私もその事を考えたの……。そして残った一個は隣のおじいちゃんにあげようと思ったの。でもその事を書くところがないので」「とだけ書いておいたの」と答えたので、それを聞いたお母さんは、思わずその子を抱き締め「お母さんはあなたが大好きよ」と言ったそうです。これを読んでわたしも目頭が熱くなり、「すばらしい親子だ」と思いました。

そして、こういう感性をもった子どもが沢山ふえることが、楽しい社会を作るのだと思えました。これもある新聞で見たのですが、小学校の理科の時間に先生が、「氷がとけたら何になりますか」と聞いた時、児童の一人がすつと手をあげて「春になります」と答えたそうです。これは、ちよつと冗談ぽくて、皆大笑いしたそうですが、この子の感性を見直し、教育界の話にもなり、これからの時代に求められる「学力」とは何かという問題にも発展し、そういう感性をもった子どもに育てることが、これからの世の中を豊かにしていくのであると書かれていました。

今までの教育は、長い間「知識や理解」のみが重視されて来ましたが、しかし、一人の能力には限界があります。最近の科学の進歩する現代では、そのすべての知識、技能を理解することは困難なことです。従ってこれからの時代に充実に生きるには、必要に応じて、必要な知識、技能を身につける事が要求されます。

子どもに多くの知識を注入しようとするより、「学び方」「調べ方」を身につけさせることが大切です。

子どもの悩みとは

教育相談室へ
(八朔屋台展示庫前)
月々金 午前9時
午後4時30分

☎(43) 13323